

庁議の概要

開催日 平成 21 年 11 月 16 日 (月)

◎項 目

1 各部局等の動向について【各部局等】

◎内 容

1 各部局等の動向について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、各部局等より概要説明を行った。

2 その他

【主な意見】

(知事)

- ・産業振興計画を4月から実施し始めるとき、少し異論があっても「何が何でも実行する」ということを盛んに強調し、とにかく本気で実行するというモードに上げてきた。当時は「絵に描いた餅だ」といった批判が非常に多かったが、そのような空気の中でも、本気で実行するということをとにかく強調するスタンスで取り組んできた。
- ・これまで実行をしてきてみて、本当の意味で高知県全体でのPDCAをしなければならないと思っている。PlanしてDoした結果がどうであったかをCheckし、その改定に十分生かしていかなければならない。そのためには、実行していく過程をご覧になった多くの方からの意見を十分に吸い取り、くみ上げなければならないと思う。
- ・そのために、私自身が「産業振興計画はまだ足りない」ということを強調していきたい。そうすることで、色々な方が、色々な意見を言ってくれることになるのではないかと期待している。今がいけないということではなくて、より改善をしていく余地がたくさんあるという意味で、「まだ足りない」ということを盛んに訴えていく。
- ・この7カ月で色々なことが実行されるようになってきた結果として出てきた意見は、何もしないときに出てきた意見に比べて、本当に血肉の通った意見であり、知恵のあるものと思う。この意見を十分に改定の中に組み込んで、産業振興計画を真に実効性のあるものにしてほしい。
- ・例えば、ある地域での意見交換会で（私が）「まだ足りない」という発言をしたら、「このようにしないといけない」「もっと変えないといけない」という意見を多くいただいた。このような意見が出てくることは、県庁が本気で実行するというのを認めてくれた上での意見であると思うので、非常にうれしいことである。
- ・実行段階になると、現場との齟齬が出ることもたくさんあると思う。また、旧弊にとらわれていたのではないかと（県民に）思われるところもあると思う。今後は、それらの批判も計画の改善に生かしていきたい。
- ・産業振興計画を作る際には、千名余りの方に参加していただき、若い方にも参加をしていただいたが、まだ、若い方たちの意見が計画の中に反映されていないのではないかとと思っている。これまでうまくいっていなかったものが一気に息を吹き返して実行されるということも大切なことではあるが、真に県政浮揚に向かわせるためには、新しく出てきた意見が反映されて実現されるようにならなければならない。
- ・部局長には、意見がよく出てくるような環境を作り、それらの意見を吸収してほしい。